

31. 地域交通のグリーン化に向けた次世代環境対策普及促進事業

平成29年度予算案額: 644百万円

政府は、省エネルギー、地球温暖化対策等のため、次世代環境対応車の普及を促進

日本再興戦略 改訂2016 (平成28年6月2日閣議決定)

運輸部門における省エネの推進 → 2030年に新車販売に占める次世代自動車の割合を5~7割とすることを旨とする。

地球温暖化対策計画 (平成28年5月16日閣議決定)










運輸部門におけるエネルギー起源CO2削減 → 2030年度に2013年度比約28%減。

交通政策基本計画 (平成27年2月13日閣議決定)

持続可能で安心・安全な交通に向けた基盤づくり → さらなる低炭素化、省エネ化等の環境対策を進める

環境に優しい自動車の集中的導入・買い替え促進事業を支援

地域交通のグリーン化に向けた次世代環境対応車普及促進事業

概要	【第Ⅰ段階】	【第Ⅱ段階】	【第Ⅲ段階】
補助上限	車両・充電設備等価格の1/3	車両・充電設備等価格の1/4~1/5	通常車両との差額の1/3
対象車両	   <p>燃料電池バス、燃料電池タクシー、電気バス、プラグインハイブリッドバス、超小型モビリティ等</p>	   <p>電気タクシー、電気トラック、プラグインハイブリッドタクシー</p>	    <p>ハイブリッドバス、CNGバス、ハイブリッドトラック、CNGトラック</p>

地域の計画と連携した取組みの支援により、段階的に次世代環境対応車を普及

○問い合わせ・申請先 近畿運輸局 自動車技術安全部 保安・環境課
電話 06-6949-6454

超小型モビリティの導入事例

奈良県飛鳥地方を活性化する超小型モビリティについて

飛鳥地方の周遊観光プランとしてのレンタカー事業

飛鳥地域の歴史的・文化的遺産を来訪する観光客向けに観光タブレットが搭載した超小型モビリティレンタル事業

導入の主な目的

回遊性の向上

観光振興

環境保全

■ 明日香村地域振興公社では、約1400年前飛鳥時代の歴史的・文化的遺産を来訪する観光客に対する観光アプリ対応タブレットが搭載された環境にやさしい超小型モビリティEVレンタルサービス事業

導入エリアの事業概要

申請者：飛鳥情報交通協議会

(代表 明日香村地域振興公社)

事業開始日：平成26年10月11日

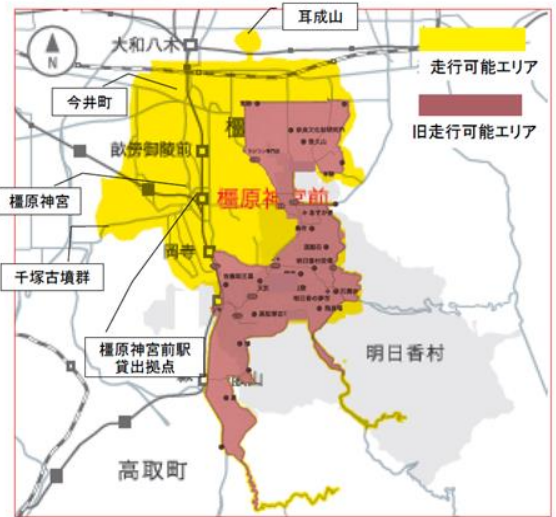
利用車両：日産ニューモビリティコンセプト(17両)

利用料：3時間3000円 / 5時間4750円 / 1日8000円

利用者数：
平成26年度 327名
平成27年度 2192名



走行可能エリアMAP



導入後の評価

高取城跡や奥明日香などレンタサイクルでは躊躇される地域まで足を運ぶことができ、飛鳥地域の観光資源が十分に活用できるよう機能をした。

搭載するiPadナビの観光ソフトの評判も良く、観光地域振興に超小型モビリティが大きな役割を果たしている。

淡路島における超小型モビリティの導入

超小型モビリティによる淡路島の自然・施設回遊「あわモビ」

「あわじ環境未来島構想」に基づき島内の観光振興、回遊性の向上および環境保全の観点から超小型モビリティが公共交通を補完することができるかを調査するための観光レンタル無料実証実験

導入の主な目的

回遊性の向上

観光振興

環境保全

■ 兵庫県の観光地であり、環境にやさしい電気自動車の普及に取り組んでいる淡路島において、道幅が狭隘な場所も快適に走行できる超小型モビリティを活用し、自然及び観光施設間を、快適に回遊できるインフラを整備することにより、観光客の利便性と娯楽性を高めることで観光振興に役立てると共に、より一層のEV普及促進を図ることを目的とする。

導入エリアの事業概要

申請者：淡路地域超小型モビリティ導入促進協議会

(代表 六甲産業株式会社)

事業開始日：平成28年9月1日

利用車両：日産ニューモビリティコンセプト(2両)

利用料：無料(最大6時間まで)

6時間を超過した場合(～8時間まで 5400円)
(8時間以上当日9000円)



導入後の評価

事業を開始して、まだ日が浅いが貸し出し場所がホテルという好立地条件、また利用料金が無料ということもあり、かなりの宿泊客が利用している状況である。

